

第1回「ミニ観察会」実施概要

【実施日時】令和4年(2022)6月11日(土)19:30～6月12日(日)5:30

【実施場所】有峰ビジターセンター北側

【天候】小雨

【気温】14.6→10.2℃

【月齢】11.6→12.6

有峰ハウスに宿泊したJWIN(日本ゾウムシ情報ネットワーク)のメンバーのご依頼でミニ観察会を実施しました。JWINは、ゾウムシ類に興味のある愛好者、研究者が様々な情報を交換、共有できるよう設けられた集まりで3年ぶりの開催をここ有峰森林文化村内で採集会、情報交換の場となったとのことです。

ゾウムシは植食性の甲虫で、葉を切って揺りかごを作るオトシブミもゾウムシの仲間です。ゾウムシ研究はまだ始められたばかりで、国内でも新種の発見は後を絶たず、新しい発見がたくさん残されているとのことで、非常に興味深い情報を共有できました。

夕方17時、灯火採集セットを準備し、19:00よりライトオン、開始時刻を待ちました。19:30有峰ビジターセンターに参加者が来館し、まず検温やアルコール消毒を実施、コロナ対策に努めました。19:40より、VC内にて、文化村の概説や灯火採集法についての説明を行いました。20:00より、北側のライトトラップ会場に移動し、ミニ観察会をスタートしました。ミニ観察会は、22:00まで実施し一旦終了としました。

引き続き、翌朝5:30まで灯火採集を継続した結果、ヤママユガ科はオオミズアオが、シャチホコガ科は、シャチホコガ、アカネシャチホコ、モンキシロシャチホコ、ブナアオシャチホコなどが、スズメガ科はクロハウジャクとハネナガブドウスズメガ、ヒトリガ科は、アカハラゴマダラヒトリやクロフシロヒトリが飛来しました。

オオミズアオの飛来時には、参加者から歓声が上がりました。ゾウムシ類はあまり灯火には飛来しないようです。飛来する蛾類について、科名や種名を質問されました。有峰では既に蛾類として930種が記録されていることをお話すると、大変興味を持たれました。蛾類もゾウムシ類も植食性で、共通の寄主植物を介して、競合関係にあることを情報共有できました。

翌朝もメンバーの方が来館され飛来種の同定について意見交換しました。

科名	種名	飛来頭数	飛来時間帯
ヤママユガ	オオミズアオ	♂3	20:20～22:00
シャクガ	種未同定1種	♂1	20:40
カレハ	ギンモンカレハ	♂2♀1	20:20～22:00
シャチホコガ	シャチホコガ	♂1♀1	21:00～22:30
	アカネシャチホコ	♂1	21:30
	モンキシロシャチホコ	♂1♀1	20:30～23:00
	ブナアオシャチホコ	♂1♀1	20:30～22:30
	種未同定1種	♂1♀1	21:00
スズメガ	クロハウジャク	♂2	21:00～22:00
	ハネナガブドウスズ	♂1	20:30
ヒトリガ	アカハラゴマダラヒト	♂2♀1	21:00～22:40
	クロフシロヒトリ	♂2	21:10～23:30



灯火採集法について聴講中の参加者



灯火採集見学中の参加者



飛来した蛾類観察中の参加者



飛来したオオミズアオ観察中の参加者



飛来したクロフシロヒトリ



飛来したオオミズアオ



飛来したハネナガブドウズメ